

第 6 学年 外国語活動指導案

日 時 平成 2 5 年 1 0 月 4 日 (金) 5 校時
場 所 2 階ワークルーム
指導者 HRT 佐藤 香里

1 単元名 「Hi, friends! 2」 Lesson5 「Let's go to Italy.」

2 単元の目標

- ・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友だちの発表を積極的に聞いたりしようとする。
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領「外国語活動」の内容1「主としてコミュニケーションに関する事項」の指導内容(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること」に基づいて伝え合う楽しさを実感させるために設定したものである。

“I want to go ~”“You can see/eat~”という表現を使って、自分が行きたい国やおすすめの国を紹介したり、その発表を積極的に聞いたりすることをねらいとしている。そこで、「友だちと世界旅行に行こう!」と提案して学習を始め、「行きたい・見たい・食べたい」という思いや伝えたいという自分の思い、友だちがどんな国に興味があるのか知りたいという意欲を高めていく。この活動は、世界各国の国旗や遺産・食べ物や動植物・スポーツ等を知り、異文化への理解を深めることができ、さらに児童自ら考え、判断し、表現することができる題材なので、児童の意欲がわく題材であると考えられる。

(2) 児童について

本学級の児童は、5年生からHi, friends!を活用しながら週1時間の外国語活動に取り組み始めた。しかし、多くの児童は、自分の思いを英語で表現しようとしたりするのはもちろんのこと、非言語によるコミュニケーションもうまく取ることができない。また、新しい単語や表現に慣れ親しむまでには時間がかかる傾向がある。Lesson1「Do you have “a”?」ではアルファベットの判別や大きい数に、Lesson2「When is your birthday?」では月や序数の言い方と聞き取りに慣れ親しむのに時間がかかった児童が多かった。扱う表現や語彙が増えるほど、「聞き取れない」「何の事だかわからない」「話し方がわからない」という気持ちが膨らんでいくようである。その不安が大きくなればなるほど、積極的にコミュニケーション活動を図ることができなくなっている。そこで、本単元では、チャンツやゲーム、事前に行うActivityを通して主な語彙や表現に十分に慣れ親しませたい。安心して会話に臨めるような雰囲気づくりをする中で、互いの思いや考えを理解することの楽しさを感じさせるようにしたい。

(3) 指導について

指導にあたっては、英語で会話する関わりそのものの楽しさと、友だちのこ

とについて知る楽しさの双方を味わわせたい。そのために、次のような手立てをとっていく。初めは、Let's Chant や Let's Listen において、リズムに合わせて体を動かしたり出てくる単語に変化をもたせて何度も聞いたり話したりしていくことで本単元に使用する単語や表現に十分に慣れ親しませていく。次に、Let's Play では自然と口にだしたくなるような活動を仕組み、行きたい国を尋ね合うやりとりから行きたい理由を含めたやりとりをスモールステップで慣れ親しんでいく。そうすることで、最終時のコミュニケーション場面での不安感を無くしたい。単元の最後は、児童が友だちと海外旅行に行くことを想定し、「友だちと世界旅行に行こう！」を行う。自分のおすすめの国をもとに、お互いに発表したり聞き合ったりすることで、異文化に対してはもちろん、友だちへの気付きや理解も深めさせたい。

4 単元の指導計画（5時間）

（1）取り扱う主な表現や語彙

主な表現	I want to go to ～. You can see～. You can eat～. Where do you want to go? Let's go.
主な語彙	America、Australia、Brazil、China、Egypt、France、Greece、India、Japan、Spain、eat、see

（2）単元計画

時	目標・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	<p>◆世界には様々な国があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Play 1】 国名を書こう ・【Let's Listen 1】 どの国の世界遺産か考えよう ・【Let's Play 2】 国旗クイズを作ろう ・【Let's Chant】 Let's go to Italy. 			○	・世界には様々な国があり、人々が様々な願いをもって生活していることに気付く。	行動観察 振り返り カード分析
2	<p>◆行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシングゲーム ・【Let's Chant】 バージョン1 ・ステレオゲーム ・【Let's Chant】 バージョン2 ・【Let's Listen 2】 わかったことを書こう。 			○	・行きたい国やその理由の英語での言い方に慣れ親しむ。	行動観察 振り返り カード点検
3	<p>◆おすすめの国を紹介する準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Chant】 バージョン2 					

	キーワードゲーム ・ラッキーカードゲーム ・【Let's Play 3】 ・【Let's Chant】 バージョン3 ・自分のおすすめの国を紹介する準備をする	○	○	・自分のおすすめする国をペアで紹介し合いながら、友だちと積極的に交流を楽しんでいる。 ・行きたい国やその理由の英語での言い方に慣れ親しむ。	行動観察 振り返り カード点検
4	◆おすすめの本国を紹介する練習をしよう。 ・【Let's Chant】 ・HRTのおすすめの本国の紹介を聞く ・自分のおすすめの本国の紹介カードを作る ・自分のおすすめの本国の紹介を練習する		○	・おすすめの本国やその理由の英語での言い方に慣れ親しむ。	行動観察 振り返り カード点検
5 (本時)	◆おすすめの本国を紹介する。 ・【Let's Chant】 ・【Activity】 友だちと世界旅行に行こう！	○	○	・自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの本国について発表したり聞いたりして交流を楽しんでいる。 ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。	行動観察 振り返り カード分析

5 本時の活動

(1) ねらい

- ・自分のおすすめする国やその理由について発表したり、友だちの発表を聞いたり、積極的に交流を楽しむ。
(コミュニケーション)
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。
(言語や文化)

(2) 評価規準

- ・自分の思いがはっきり伝わるように、工夫しておすすめの本国について発表したり、友だちの発表を聞いたりして交流を楽しんでいる。
(行動観察・振り返りカード点検)
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。
(行動観察・振り返りカード分析)

(3) 研究にかかわる視点

視点①「教材とのかかわり」

子どもが教材に抵抗なく関わられるよう、導入ではチャンツを取り入れる。国名や食べ物・スポーツなど単語の部分を変えるなど、慣れ親しんだリズムを生かして本時に利用する表現に発展させていく。Activity①では、誌面の写真を見て、どこへなぜ行きたいのかを推測させ、自分に置き換えて表現を考えさせることで聞き取りの意欲を高めていく。Activity②では、「友だちと世界旅行に行こう！」という場を設定し、一緒に旅行に行ってくれる友だちを探すという必然性をもたせることで、“Let’s go to ～.” “You can see ～.”などの会話を繰り返し発話させる。

視点②「他者とのかかわり」

本時のコミュニケーション場面は、“Let’s go to ～.” “You can see ～.” “You can eat ～.”の表現を使って、「友だちと世界旅行に行こう！」である。おすすめの国を友だちに共感してもらえば一緒に旅行に行けるという目的を与えることで、積極的にコミュニケーションを図る場を設定する。また、自分のおすすめの国に共感してもらえないときには、その国のおすすめポイントカードをわたすことで色々な国の良さについて広めるようにする。自信のない児童については、班で教え合わせたり教師から支援を行ったりする。また、活動に入る前に会話のモデルを示し、安心感を持たせうえで活動を始める。会話のはじめや終わりにあいさつをしている、好例となる児童を見つけ、その姿をほめることでよりよいコミュニケーションとはどのようなものなのかを示していく。最後に、誰のおすすめの国に行きたくなったかを交流することで、自分たちのプレゼンテーションの達成感や相手の好きなものを聞くことができたという喜びをもたせ、コミュニケーションを楽しいものと捉えるようにさせていく。

視点③「自分自身とのかかわり」

活動の最後に振り返りカードを使用した感想の共有を行う。おすすめの国の紹介を媒介にして、新たに知った表現や友だちの一面などを出し合うようにすることで、コミュニケーションの仕方の良さやコミュニケーションの内容そのもの、相手の良さについての気付きを全体に広める。そして、外国語を使ってやり取りすることの楽しさや相手のことを知る楽しさ、もっと知りたいという意欲を高めることにつなげていく。

(4) 展開

児童の活動	時間	HRTの支援と評価 (○)、研究の視点 (◇)
<p>[Warming up]</p> <p>1 はじめの挨拶をする。 Hello.Kaori sensei. I'm ○○. How are you?</p> <p>2 チャンツ ♪Let's go to Italy? ♪ をする。 (Hi, friends! 2 P. 2 1)</p> <p>3 今日のめあてと活動内容を確認する。 [Activity①] Hi, friends! 2 P. 2 1 Activity</p>	10分	<p>○笑顔で気楽な雰囲気をつくり挨拶をする。 Hello, everyone. How are you today? I'm ○○, thank you.</p> <p>○3バージョンで チャンツを行う。 ◇英語に慣れ親しめるように、チャンツを通して“Let’s go to ～”や“You can see ～”“You can eat ～”の表現に触れる。 (教材とのかかわり)</p> <p>○活動内容を確認させ、友だちにおすすめの国を紹介しようとする意欲を高めさせる。</p>

<p>[Activity②] 「友だちと世界旅行に行こう！」</p>		
<p>[Main activities]</p> <p>4 Activity① さくらとひかるのおすすめの国の紹介を聞く。</p> <p>(1)P. 21の写真をみて、さくらとひかるがどこへ行きたいのか推測する。</p> <p>(2)音声教材を聞いて、わかったことを吹き出しに書く。</p> <p>(3)おすすめの本国の紹介の仕方を確認する。</p> <p>5 Activity② 「友だちと世界旅行に行こう！」をする。</p> <p>(1)発表の準備をする。</p> <p>(2)「友だちと世界旅行に行こう！」</p> <p>①出会った友だちに自分のおすすめの国に行ったら何ができるのかを紹介する。</p> <p>②自分のおすすめの国に共感してもらったときには、その国の旅行プランをわたす。</p> <p>③自分のおすすめの国に共感してもらえないときには、その国のおすすめポイントカードをわたす。</p> <p>A: Hello. B: Hello. A: Let's go to (国名). You can see~. You can eat~. Nice country. Let's go! B: Yes let's. / Sorry. A: Here you are. (カードをわたす.) B: Thank you.</p>	<p>28分</p>	<p>○誌面の写真を見せて、さくらとひかるのおすすめの国を推測させる。</p> <p>◇さくらとひかるがどのように話すかを推測させることで、聞き取りの意欲を高める。(教材とのかかわり)</p> <p>○おすすめの本国についてのカードをもとに発表の仕方をペアで練習させる。できるだけ Yes let's と答えてもらえるように紹介の仕方を工夫するようにアドバイスし合う。</p> <p>◇おすすめの本国を友だちに共感してもらえば一緒に旅行に行けるという目的を与えることで、積極的にコミュニケーションを図らせる。(他者とのかかわり)</p> <p>○友だちの紹介するおすすめの本国に対して、進んで質問や反応をしている児童の姿を広める。</p> <p>○友だちに進んでおすすめの本国を紹介しているか。(行動観察)</p> <p>○友だちの紹介する本国の特徴に気付いたか。(行動観察・振り返りカード)</p> <p>○活動後、自分の紹介に対する反応はどうだったか、友だちのおすすめの本国の紹介を聞いてどう感じたかを聞く。また、受け取ったカードの枚数や渡したカードの枚数を聞くことでたくさん会話をした達成感を持たせる。</p>
<p>[Looking back]</p> <p>6 本時の学習を振り返る。 振り返りカードに、会話の楽しさや、新しい気づき、友だちのよいところ等を書き、発表する。</p> <p>7 終わりの挨拶をする。 Thank you .Kaori sensei. See you.</p>	<p>7分</p>	<p>◇会話の楽しさや新しい気づき等を発表させ、よさを認め合う。(自分自身とのかかわり)</p> <p>○終わりのあいさつをする。 That's all for today. Thank you everyone.See you next time.</p>